

まちの話題

▶子どもたちの遊ぶ声が弾ける夏休み。しかし3.11後、放射能のためにその喜びを十分に享受できない子どもたちがいます。いまだ線量の高い地域は数多くあり、大人も子どもも健康被害を受け続けている、という事実があります。▶長期休みを利用した保養事業ご存知ですか?この夏も、高島・大津・信楽で、一ヶ月にわたり、保養が行われました。一時的にでも線量の低いところで暮らすことは、放射能と闘う体を休め、基礎体力の回復を促します。特に日頃外遊びを制限されている子どもには、何も気にすることなく、思う存分に外を駆け回り川で水遊びができることは、なによりのストレス回復。「マスクしないでいいの?石拾ってもいいの?」...こんなセリフを子どもに言わせてしまうなんて。▶幸い事故の被害を受けなかった私たちにできること、その一つは保養です。そしてその継続です。3.11から3年が過ぎ、みなさんからのカンパ額も減っています。関心が薄れていることを感じます。放射能時代は始まったところ、みんなの愛で、共に生きていかなければ。(綾牧生)

びわこおっぱい塾info

おっぱい塾は、母乳育児を望む母親たちが集う安心スペースとして、2004年から始まり、現在滋賀県内の9カ所で開催されています。どうぞ気軽に遊びに来てね~!

総合案内ブログ「びわこおっぱい塾」  
http://biwakooppaljuku.blog70.fc2.com/

<東東おっぱいっくらぶより>

新米ママや汗っ玉ママちゃん、育児中の働くママに助産師さん、いろんな親子が、毎月第4木曜日に集まっています。子育ての喜び、悩み、不安、情報交換...笑いあり涙あり、お母ちゃんどうしがゆるくあたたかくなつがる場です。



あまいろいろだより

くらしとせいじ

天色便り  
あまいろいろ探偵団、走る!  
手づくり市民メディア  
第20号 2014.9.15



新しいびわ湖情報紙「あまいろいろだより~天色便り~」第20号

発行日/2014年9月15日  
編集/あまいろいろ探偵団  
(綾牧生・岸田知之・北岡晴道・きむきがん・中野和子・藤井朋子)  
発行/特定非営利活動法人あまいろいろ湖  
(旧滋賀県環境生活協同組合)  
〒521-1311 滋賀県近江八幡市安土町下豊満3番地  
TEL.0748-46-4551 FAX.0748-46-4550  
Eメール:info@aobiwako.org  
びわこ未来ブログ更新中~  
http://aobiwako.shiga-saku.net/(滋賀県ブログ)  
\*kixito びわ湖の森を元気にするkixitoペーパーを使用しています(びわ湖の森の製材材活用)

子どもは水辺で育つ  
ホテルの住むまち守山らしきくらし文化  
子育て広場、やっています!  
~子どもの野外遊び×雨のおしゃべり~  
\*毎月第4月曜日  
\*守山市目黒川河川公園にて  
守山図書館の船を渡れる目黒川をこの春ですか?図書館からすこし下流では、守山市とびわこ豊後の間の橋によるモデル河川(多自然河川)づくりが行われています。ここで野外・子育て広場をやっていますよ!くわしくはびわこ未来ブログをごらんください!

表紙タイトル/岸田知之

暮らしのコラム 「ドイツ旅で学んだこと」北岡晴道

チャップで宮崎~日本~世界を走り世界中の人たちに地球のメッセージを伝えている松本英揮さん<Imagine(イマジン)代表、大阪教育大&大阪経済大非常勤講師>が開催されているエコツアー。毎年2回、全国の方々が集まって欧州の素敵な環境首都を巡る旅です。この夏、「落下屋」の中学生4人がツアーに参加しました。落下屋とは小中学生のグループ、バンド活動、「落下屋新聞」の発行をしています。旅の報告が楽しみです~。

英揮さんのエコツアーで僕達、落下屋がドイツやフランスで学んだ事は4つあります。まず1つ目は、トラム(最新路面電車)や自転車を気持ちよく乗るシステムをつくらう!と言う事です。車は主にガソリンで動きます。10分入れかかります。すると、車を動かすには1分しか使っていないのです。後の9分は熱で逃げて行くだけなのです。ドイツは、日本に比べて車の数が圧倒的に少なく、格安トラムや、自転車道の整備などが発達していて、どこにでも行けるのです。車は自転車を追い抜いてはいけぬ法律があつてびっくりしました。フランスのストラスブールでは街中やプラタナス運河沿いなどをみんなでサイクリングしました。往復30km、とても、快適でした。

2つ目は、ヨーロッパ等で大気汚染などが少ない事です。日本はすぐ隣りに国はありません。海です。しかしヨーロッパは、国境線でくざられてはいますが、地続きです。国際河川などもあり、汚れたものを流したり空気を汚すと、すぐ国際問題になります。戦争に発展しかねません。なので、大気や河川の汚染は少ないのです。

3つ目は、ペットボトル等にデポジット料金が足されていて、少し高いのです。その分、ペットボトルを回収する際に、お金は返ってきます。こういう事をするので、ペットボトル等の回収率が上がって、その分はリサイクル費用に回せ

るということです。考えられていると思いました。

最後に、一番良かった事は、現地の子どもの事、大学生、副市長、市議会議員、象使い、ヒマラヤにいる人、いろんな人達と友だちになれた事です。みんなで、バスケットボールをしたり、サッカーしたり、話したり、大宴会したり、とっても楽しかったし最高の旅でした。また、みんなと会いたいし笑いたい、思いました。

\*エコツアー旅程\*

- 1日目/成田・中部・関西・福岡から香港に、全国からツアー仲間が集合
- 2,3日目/フランクフルト着 ドイツの新幹線(ゴミの出ない美・食堂車)にEにてフライブルグへ。宿泊は世界一のエコホテルに認定された「ピクトリア」環境首都レクチャー
- 4,5日目/ユーロトラムの走る街ストラスブールへ。車だらけだった街の素晴らしい変身
- 6,7日目/世界一のCO2削減の街ハイデルベルグへ。パリアフリー・ハイデルベルグコースホテル宿泊
- 8日目/ハイデルベルグからフランクフルト空港へ
- 9日目/香港着 帰路へ(成田・中部・関西・福岡)



ストラスブールのプラタナス運河 サイクリングの途中に  
\*\*\*このコラムは、「暮らし」をテーマに、毎月筆者を替えてお届けしていきます\*\*\*  
北岡晴道...飛ぶ鳥落とす勢い、いま滋賀でイチャイチャい中学生バンド落下屋のVo&G。本誌人気連載漫画「中2男子の日常」の主人公、14歳。

こんな映画、いかがですか?

『きっと、うまくいく(3 idiots)』(監督:ラージクマール・ヒラニ/2009/インド)

私にとってインドとの出会いは、好奇心旺盛な若い春の頃、友人がうれしそうに作ってくれた1杯のチャイだった。「チャイで何?」と聞く私に「インドの紅茶、牛乳とたくねん。スパイスいれてな。ほんまはアホほど白の砂糖いれねんけど、それはやめとくわ、はい」と渡されたそれはほんとにうまかった。すっかり影響されて、事ある毎にチャイを作ってはいろんな人にふるまうまであったある日、インド帰りのトクヤんが「僕も向こうでメチャクチャしました。屋上で飲んだ後、素焼きのコップ道にバーンと捨てて割るんですよ、そのまま。だから日本のカフェで高いチャイを飲むと違和感、感じるんです」。

そうそうそう、このカルチャーショック。たかが一杯のチャイからでも、自分の知らない世界について知ることができた。インドでチャイに使われる茶葉はダストティーだ。小さい鍋で茶葉とスパイスを牛乳と水で煮出し、砂糖をたっぷり入れて飲むこのスタイルは、イギリスの植民地であったことと大きく関係している。当時、インドで作られた良質の茶葉は全部イギリスに持って行かれたために、残された粉々の茶葉で美味しく飲む方法を庶民がみ出したものだ。だから良質な茶葉で作るチャイはもはやチャイではない。しかし所変われば、高い茶葉でそれを

チャイと売り、スパイスな歴史は、少なめの砂糖とともに薄められてしまう...。そんな日本はなんだろうか。

インドの映画が最近、超面白いと聞いていた。そしてこの作品を見て、その理由がわかった気がする。思うに、今やものすごい勢いで発展を遂げるインドの中で、カースト制の影響で根強く温存される差別と激しい格差社会を生きていくには、これくらいたくましいエネルギーを備えていないと生き抜けないんじゃないか。又、このリズムカルでダイナミックに展開される娯楽のレベルの高さはその厳しさの裏返しともいえるんじゃないかと。そしてその技をして、そんな競争社会の問題性を見事に描いているのがこの作品だ。

あるエリート大学の青春群像を通して、学歴競争社会に囚われる人間の虚しさ、それとは対極にある本当の学びや豊かさを、笑いの中で爽快に見せてくれる。「3バカ」と呼ばれた3人のキャラクターを中心に繰り広げられる物語は愛おしく、真剣にコメディだ。でも泣くよ。切ないで。もう見て!きっとあなたも作品の持つ力強さに圧倒されるはず。

インド映画は別名、マサラムービーといわれている。マサラとはミックススパイスのこと。映画もチャイも人生も、まさにスパイスが肝心やね。(きむきがん)

錫の牙

一日の締めくくり  
美味しい夕食は日常会話にポリティカルトークも加えて  
我が家では夕食時、一日の出来事・些細な話・下世話な話・どーでもいー話と共に、ポリティカルな話がいーが出てきます  
ポリティカルトークをカジュアルトークに

甘中裕美子





「私たち（市民）が動いて選んで決める！」  
そんな期待と希望で盛り上がった先般の滋賀県知事選。子どもの未来を想って行動に出たお母ちゃん達が、もって市民が政治に興味をもつて参加しよう！と「くらしとせいじカフェ」を立ち上げた。ブログを開設し、県内各所でお茶会を開催し、手づくりのぼりを持って「選挙に行こう！チラシ」を配った。政治ってむづかしいし、わからないでも、行動すると面白くなってきたよ。選挙は終わったけど、これで終わりじゃない。私たちの暮らしのこと、みんなで考えていこう！  
九月のある日、八日市の「ぐるりとせいじカフェ」にて開催した「くらしとせいじカフェ」の様子をお届けします。

### ●選挙を振り返って

まだか／楽しかった。ものすごい楽しい選挙だった。見るだけじゃなくて、人に呼びかけて、みんなで集まって、選挙結果を見るのをワクワクしたりとか。投票率も「五十%いったー！」って。雨やったのにー。

みか／動くことこんなに面白いもんなんと。自分が動くなんてことは今まで全然なかったから。分かんないからってのはあったけど、分かんないのと選挙に行くのとは全然違うと思ってやってみたらすごい面白い流れが。でも、もっと早く動けばよかった。あとから、あれも出来た、これも出来たやんとか。だから次も楽しみ（笑）

みき／自分が動いて伝えるなんて：思ってただけで、出会う人に話をしてみるというんなお話ができた。動いてみてすごくよかった。

かずこ／八日市のみんなは動きがすごく速かった。みか／あの日、午前中に「くらしとせいじカフェ」があつて話をきいて、午後にはみんなで集まって、「選挙に行こう！」のチラシ撒きの段取り相談して：すごい速さだった。でもそもそも「くらしとせいじカフェ」当日に集まった数にびっくり。やるって決めてからそんなに時間もなかったし、取りあえず知ってる人に声をかけて、ま十人くらい来てたらしいかなくらいだったのに、実際は三十人以上この部屋が満杯になって。それで集まることで盛り上がるのを再確認。フェイスブックとか自分からとりにいかななくても入ってくる情報も大きいと思つた。

あいこ／みんなで地元の子育てサロンでしゃべろうか行ってたんやけど、たまたまそのとき台風が来て他のお母さんが誰もいなくて（笑）。次はもうちょっと自分でも調べて、地元の人とも喋りたいな。政治には興味を持って人が多いいです。込み入った話も出来るようにもうちょっと時間の共有が出来たらよかったな。  
ひよ／わたしは選挙でこんなに涙をしたのは初めて。感動。県外の友だちからも「滋賀よかったね」って連絡がきてた（笑）

# くらしとせいじカフェ



### ●保育園・幼稚園のチラシまき

みか／わが子が通う保育園で「選挙に行こう！」チラシを配らせてもらったのが嬉しかった。雨の日だったから、中でやって下さいって言うてくれて、玄関でお茶も出してきて。先生の方から「こういう事をしてきてあげたい」と。それを四日間やって、結構お父さんのお迎えが多くて。お父さんたちがチラシを見て「今回はこれしかないやろ」とか話したり、ひとりのお父さんが「政治は子どもの未来のためにあるんやからな」といい事言わはったり。その時間自体が、チラシ配りしてなかったら絶対あり得なかつたし、友達じゃない人と、ましてや保護者どうして、ましてや支えている人が違う状態で、門の前で立ち話っていう事が面白くて感激した。他のお母さんとも仲良くなつて、その後スーパの前でチラシ配る時にも来たいて言ってくれて、何人か来てくれた。友だちのおつれあいさんでアメリカの方がいてはって、選挙権がないのに「選挙へ行こう！」と声を上げてチラシまいてくれて。「選挙権はないけど選挙をした気持ちになつたよ、ありがと〜」と言ってくれた。自分が動く事で、いろんな反応を実感できて余計やる気になって、感激でした。

みき／他に幼稚園や保育園で撒いた方は？  
みか／公立の幼稚園で配ってたんですけど、お母さんの中には「自分ももうずうずうしてどうしていいのかわかんないけど、こうして声を挙げて行動してくれてありがと〜」って言ってくれた人もいて。

みか／保育園で配る時に「選挙、行きますか？」って聞きながら配ってみた。反応が面白いかなと思つて。そしたら「行きました」とか「あ、もちろん行きます」とかもあるんですけど、結構「行きません」があつて。まあ忙しいそうなのな気がしてるんだけど。あ、この状況で「行きません」って言えちゃうんだなと思つた。若いお母さん。「今回は是非！」言うといたけど（笑）。選挙じゃないときにもすることもあるんかなって感じた。

●家族の反応  
まきお／私は活動で夜も出かけるしさ。（夫が）帰ってきて良かったわーと子どもを預けて。夫は夫で職場の組合があつて、講演会の動員があつたりチラシを配つたりとか。でも今回、特定の候補者を進めると言うよりも、自分たちでやる政治をなんとかして手に入れようっていうのが私たちの中にあつたから、私はそれを彼には言つたし、彼もそう思つたみたいで、お互い快く動けた。かずこ／動員されるお父さんたちは意に反する人たちに投票するのかな？

まきお／投票行動としてはいるいるなんだろうね。かずこ／意に反する人の選挙を応援したりしてしんどいよね。

まきお／でも、しんどく感じる人は多くないのか

も。あまり考えてないけど仕事の流れで動員されて、あまり考えてないけどあの人の名前をよく聞いてたから入れるみたいなのが多いのかな。それが組織票なのかな。  
ひよ／ななちゃんも子どもたちからも、なんか言われたって言つてなかった？  
ななつ／あー。いろいろ動いてる時、散髪行きたいって長男が言うから、「こないだ行つたばかりやん！」って言つたら、「もう一ヶ月も前ですけど」って。「一時が経つのは早いなあ」「そりやーななつさんが毎日楽しいからでしょ」って（笑）  
楽しかったです、ホンマ。

●未来を見据えて  
ささる／選挙って自己主張の場じゃなくって、みんなとどんな社会をつくるかを議論する場なんやって意識が変わつたって人が増えたのが良かったなあ。今日みんなに聞きたいなって思つた事は、今後のこと。選挙前から考えたこと

が三つあつて。ひとつはメディア。マスコミでは伝わりきれない事がどんなふうにも広げられるかってこと。次に意識を持った人が政治に参加出来る機会をどう作るか。そして、どう政策を立案して形にできるか。今回の選挙にあつた「ノリ」をどうしたら維持できるかなって。

ななつ／高島でやった「くらしとせいじカフェ」に来てくれた人が、「あれはすごいよかった。私は高島でいろいろんことを喋れる友達があんまりいなかったけど、あつたときにいろいろんな気持ちが出たし、いまもあふれ続けていてどうしたらいいかわかんないんや」と。って。「くらしとせいじカフェ」で蒔いた種は、一人の人の心にもちゃんと届いてる。「気持ちがあふれてる！」ってすごくすばらしいなって。そういう気持ちを持つてる人はいつもどこかにいて、そんな人と出会うために、小さくてもいいからそんな機会を作れたら。

よしみ／そのときに来てくれたまた別の友達には「揺れる気持ちがありがと〜」って。あつたとき、別の候補者に入れると決めてた人が、みんなの話を聞いて、モヤモヤとされてしまつたって。未来を楽しそうに語る私たちを見て、決めてた気持ちグググ揺れて、もーなんでなん！みたいに腹が立つたりして。私は最初、コロッと変えたる！くらいの気持ちで臨んだけど、モヤをつくる位でもいいんやって思つた。

かずこ／やっぱり「くらしとせいじカフェ」はいいキーだよな。  
よしみ／野洲でやったときは議員さんがいっぱい来てくれた。せっかくなら議員さんとも親しくなつたから、今後もテーマ決めて、子育てについてやったら文教委員の市議さん呼んで話聞くとか、議会に議案あげたい時にどうするかとかを請願書たてた経験ある人呼んで話聞くとかできる

よしみ／野洲でやったときは議員さんがいっぱい来てくれた。せっかくなら議員さんとも親しくなつたから、今後もテーマ決めて、子育てについてやったら文教委員の市議さん呼んで話聞くとか、議会に議案あげたい時にどうするかとかを請願書たてた経験ある人呼んで話聞くとかできる

よしみ／野洲でやったときは議員さんがいっぱい来てくれた。せっかくなら議員さんとも親しくなつたから、今後もテーマ決めて、子育てについてやったら文教委員の市議さん呼んで話聞くとか、議会に議案あげたい時にどうするかとかを請願書たてた経験ある人呼んで話聞くとかできる

よしみ／野洲でやったときは議員さんがいっぱい来てくれた。せっかくなら議員さんとも親しくなつたから、今後もテーマ決めて、子育てについてやったら文教委員の市議さん呼んで話聞くとか、議会に議案あげたい時にどうするかとかを請願書たてた経験ある人呼んで話聞くとかできる

よしみ／野洲でやったときは議員さんがいっぱい来てくれた。せっかくなら議員さんとも親しくなつたから、今後もテーマ決めて、子育てについてやったら文教委員の市議さん呼んで話聞くとか、議会に議案あげたい時にどうするかとかを請願書たてた経験ある人呼んで話聞くとかできる

よしみ／野洲でやったときは議員さんがいっぱい来てくれた。せっかくなら議員さんとも親しくなつたから、今後もテーマ決めて、子育てについてやったら文教委員の市議さん呼んで話聞くとか、議会に議案あげたい時にどうするかとかを請願書たてた経験ある人呼んで話聞くとかできる

よしみ／野洲でやったときは議員さんがいっぱい来てくれた。せっかくなら議員さんとも親しくなつたから、今後もテーマ決めて、子育てについてやったら文教委員の市議さん呼んで話聞くとか、議会に議案あげたい時にどうするかとかを請願書たてた経験ある人呼んで話聞くとかできる

よしみ／野洲でやったときは議員さんがいっぱい来てくれた。せっかくなら議員さんとも親しくなつたから、今後もテーマ決めて、子育てについてやったら文教委員の市議さん呼んで話聞くとか、議会に議案あげたい時にどうするかとかを請願書たてた経験ある人呼んで話聞くとかできる

よしみ／野洲でやったときは議員さんがいっぱい来てくれた。せっかくなら議員さんとも親しくなつたから、今後もテーマ決めて、子育てについてやったら文教委員の市議さん呼んで話聞くとか、議会に議案あげたい時にどうするかとかを請願書たてた経験ある人呼んで話聞くとかできる

よしみ／野洲でやったときは議員さんがいっぱい来てくれた。せっかくなら議員さんとも親しくなつたから、今後もテーマ決めて、子育てについてやったら文教委員の市議さん呼んで話聞くとか、議会に議案あげたい時にどうするかとかを請願書たてた経験ある人呼んで話聞くとかできる

よしみ／野洲でやったときは議員さんがいっぱい来てくれた。せっかくなら議員さんとも親しくなつたから、今後もテーマ決めて、子育てについてやったら文教委員の市議さん呼んで話聞くとか、議会に議案あげたい時にどうするかとかを請願書たてた経験ある人呼んで話聞くとかできる

いいかも。  
ひよ／告示前に候補者さんのお茶会をいっぱいしたやんか。私、あの印象がすごい良かった。みんなの話をすごい真剣に聞いてメモつた候補者さんの姿が印象的やったんやけど、今ってどうなんやろ。うちの声って届きやすいもんなん？時々声を届ける会があつたらいいのになつて。滋賀の人言いたい事があつたら話に行けるところがあつたら素敵じゃない？

みか／一番選挙が影響する一般の若い世代で、選挙については特に考えない、行かへん、なんとなつていう層に、今回たくさん出会った。自分の周りではもう選挙に行くのは当然の人が多いし、そうでもないところへのアプローチをすごい考えたし、これらからもそんなアプローチをせなあかんのかなってというのが一番思つた事。

「くらしとせいじカフェ」もまたやってほしいっていう声もあつて、そう思う人達で盛り上げてくれることも大事。同時にそうじゃないところへどう届けていくのかを考えることも大事。そこに届けられるのは「お母さん」やなと思う。私は仕事も趣味の世界で生きてきたけど、お母さんになって、今までまわりになかつた人と出会つたり、仲良しだけじゃない人とのつながりができて。「お母さん」てオールジャンル。「お母さん」ができることでオモロいことがあるんやろかなって思つてることです。

まどか／すごくちっちゃいことでも、何か変わった！っていうことができたなら、わっ！ってなりそう。私は学校給食をすごく変えたいって思つてるんやけど、例えばみんながそれを食べたんだよっていうのが目に見えてわかつたら、もっとあれも出来るこれも出来るってなる。三日目の日にみんなで集まって、びわ湖の周りのいろいろんなことで、集まってやりたい事を相談してつなげて動き出したよっていうのを体験してあげたら。そして、デザインもイケテル感じを出して。

かずこ／三日目カフェいいねー。  
ななつ／選挙期間中、県外の人にもっとアピールできたらって思つた。メディアがもっと取り上げてくれたらいいのになつて。これから福島や沖繩の知事選が控えている。日本中の人が興味を持って見ていかんと。

まきお／こういうことは市民が動かないと盛り上がる。福島や沖繩のお母ちゃんたちがやってくれたらいいな、と思つた。

